

一般質問通告書

令和8年第1回定例会において、下記の事項について一般質問（個人質問）を行いたいので会議規則第62条第2項の規定により通告します。

令和8年2月27日

議員氏名 近澤 美佳子



海市議第 22 号

- 8. 2. 27 受付

分類 0・01・00
10・5・3・1・常
海津市議会

海津市議会議長様

受領番号	第 6 号	受領日時	令和 8 年 2 月 17 日 15 : 00
要 旨	市内の認定こども園及び小中学校、並びに通学路における防犯対策の充実について		
質問相手	市長 教育長		
質 問 内 容			
市内の認定こども園及び小中学校、並びに通学路における防犯対策の充実について			
<p>子供たちの安全を守ることは、私たち大人、そして行政に課せられた最も大切な役割の一つです。大きな事件や事故が起きてから悲しむのではなく、日頃から「守られている」という安心感を地域全体で育てていくことが、今、本市に求められているのではないのでしょうか。</p> <p>さて、昨今の社会情勢に目を向けますと、学校や通学路における不審者情報、痛ましい事故のニュースが絶えることはありません。私は日頃から多くのお父さん、お母さんとお話をする機会がありますが、皆様一様に「子供を預けている間の安全」については、非常に高い関心と、時として切実な不安を持っていらっしゃると思います。</p> <p>文部科学省の調査によれば、全国的にも公立学校における防犯カメラの設置率は年々上昇しており、今や「設置しているのが標準」という時代になりつつあります。もちろん、本市においても先生方が一生懸命、目視での見守りや巡回に励んでくださっていることは重々承知しております。しかし、広</p>			

い校庭や複数の校舎、いくつもの出入り口を、限られた先生方の「目」だけでカバーし続けることには、どうしても物理的な限界があります。

今、私たちが向き合うべきは「これまでのやり方で大丈夫」という慣例ではなく、時代の変化に合わせた「新しい安全のスタンダード」に環境を整えることではないでしょうか。

防犯カメラというと、どうしても「監視」という少し冷たいイメージを持たれる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、私はこのカメラこそが、関わる全ての人にそっと寄り添う「お守り」のような存在になると考えています。

カメラを設置する必要性としてお伝えしたい一つ目として、子供たちを守るためです。カメラがあることで、不審者が近づきにくい環境が作られます。

二つ目は、事実を明らかにするためです。もしもお友達同士のトラブルや怪我につながる事案が発生してしまった時、言葉で状況をうまく説明できない子供たちの代わりに、当時の状況を教えてくれるのが映像です。それによって、保護者の方も納得でき、迅速な解決と再発防止につながります。

そして三つ目は、日々現場で奮闘されている先生方を守るためです。一生懸命子供たちと向き合っている先生方が、何かの拍子に誤解を受けたり、不当なクレームで心を痛めたりすることがないように、カメラの映像がその「誠実さ」を証明する盾になってくれるはずです。

このように、子供、保護者、先生の三者が、より強い信頼関係で結ばれるための「安心のインフラ」として、設置を前向きに進めていくべきだと考えますが、いかがでしょうか。

さらに、子供の安全確保は施設内にとどまりません。校門を一步出た後の「通学路」における安全対策もまた、一体的に議論すべき重要な課題です。

本市では、防犯パトロールや青色回転灯車両による巡回、地域での見守りなど、多角的な取組みが行われております。しかしながら、地域ごとの見守り活動の状況にはばらつきも見られ、見守りの目が届きにくい、いわゆる「通学路の空白地帯」もあると認識しています。子供たちが安全に登下校できる

環境を確保することは重要であり、施設内の対策と合わせて、切れ目のない防犯対策を講じていく必要があると考えます。「海津市の園や学校なら、どこに預けても安心だね」と信頼いただける街の実現のためお伺いします。

- ① 現在、市内の公立認定こども園、および各小中学校において、防犯カメラはそれぞれ何台設置されているでしょうか。
- ② 施設によって設置台数に差が生じている場合、市として子供たちの安全を守るために改善していく必要があると思います。防犯だけでなく、事故の検証や先生方のサポートという観点からも、全ての施設において安全を確保できるよう、計画的に増設を検討していただけないでしょうか。
- ③ 通学路における防犯体制について、現状と今後どのように取組まれるお考えなのか、お聞かせください。